TASAKI

2026 年 11 月 12 日

TASAKI、約 15 年ぶりにブティックスタッフのユニフォームを刷新

ファッションブランド「divka」がデザインを担当
パールジュエリーの美しさを引き立てる、モダンで自由なスタイルへ





TASAKI は、2026 年 11 月 12 日（木）、ブティックでお客様をお迎えするセールススタッフのユニフォームを約 15 年ぶりにリニューアルいたします。

新たなユニフォームは、TASAKI が大切にする洗練されたエレガンスとモダンな感性を体現しながら、日々お客様と向き合うスタッフの快適性と機能性を追求。何よりも、TASAKI の象徴であるパールジュエリーの美しさを最大限に引き立てることをコンセプトにデザインされました。

TASAKI



デザインを手掛けたのは、日本発のファッションブランドとしてパリをはじめ国内外でコレクションを発信するブランド「divka（ディウカ）」。3 社によるデザインコンペティションを実施し、実際にユニフォームを着用するセールススタッフ全員が参加した投票を経て、divka のデザインが選ばれました。

パールジュエリーの輝きと調和する、モダンエレガンス

新ユニフォームのデザインにおいて最も重視したのは、TASAKI のパールジュエリーとの美しい調和です。

パールが持つ気品と柔らかな輝きを引き立てながら、TASAKI ならではのコンテンポラリーな美意識を表現。端正で洗練されたシルエットと、モダンなデザインを融合させることで、ジュエリーを身に着けるスタッフ自身の美しさも引き立てるスタイルを目指しました。

また、長時間にわたりお客様をお迎えするスタッフにとっての着心地や動きやすさにも配慮し、美しさと実用性を兼ね備えたユニフォームを実現しています。

TASAKI

一人ひとりの個性を尊重する、自由なスタイリング

今回のリニューアルでは、従来の画一的なユニフォームの概念にとらわれず、スタッフ一人ひとりが自分らしく装うことのできる、多彩なスタイリングを採用しました。

トップスはジャケットに加え、2 色展開の半袖アウターを用意。ボトムスはパンツとスカートから選択できるほか、ワンピースもラインアップしています。

さらに、ジェンダーを問わず着用できるユニセックスデザインも取り入れ、スタッフそれぞれの好みや個性、その日のオケージョンに合わせた自由なコーディネートを可能にしました。

多様なスタイルを尊重しながらも、TASAKI のブランドイメージとしての統一感を保つ、新しいユニフォームのあり方を提案します。

スタッフ自身が選んだ、新しいユニフォーム

今回のユニフォーム刷新では、実際にブティックで着用するスタッフの視点を大切にしました。

3 社によるデザインコンペティションの最終選考には、セールススタッフ全員が参加。投票によって divka のデザインが選出されました。

ブランドの世界観を表現することはもちろん、日々お客様と向き合うスタッフ自身が心地よく、自信を持って身に着けられること。今回のリニューアルでは、その両立を目指しました。





新しいユニフォームとともに、TASAKI はこれからも、ジュエリーの美しさと洗練されたホスピタリティが響き合う、特別なブティックエクスペリエンスをお届けしてまいります。

TASAKI

divka（ディウカ）について

デザイナーの田中崇順とパタンナーの松本志行により、2011 年に設立された日本発のファッションブランド。田中はロンドンの名門芸術大学セントラル・セント・マーティンズ在学中より、パリのラグジュアリーメゾンなどで研鑽を積み、2005 年には英国の「C&W/H&B Student Fashion Award UK」で優勝。2006 年に同大学を優秀な成績で卒業。ブランド設立後は、2012 年に「TOKYO 新人デザイナーファッション大賞」プロ部門で東京都知事賞を受賞。2013 年春夏コレクションよりパリでの展示会を開始し、国内外へと活動の場を広げている。立体裁断を駆使した独創的なシルエットと、身体の動きに呼応する造形美を特徴とし、既成概念にとらわれない自由なクリエイションを追求している。